

国語力をアップデートする

基礎知識から、主体的な学びへつなげるために

岐阜大学教育学部 教授 山田敏弘

この講座の目的

- 国語教育で必要とされる知識をアップデートする。
- 国語教育の表記、語彙、文法、方言などに関する知識を、日本に住む外国人に対する日本語教育にも使えるようなものに近づけていく。
- 日本に住むすべての子どもたちにとって、よりHAPPYなことばの教育を目指す。

正しいものはどれ？（目次から）

- 「木」の2画目は、はねてはいけない。
- 辞書には、みな、どれも同じような記述がされているので、どの辞書を使っても同じである。
- 「おめでとうございます」は、世界的に見て、間違った「た」の使い方である。
- 「ワンタン」は、外来語である。
- 「十本」は、「ジッポン」だけが正しい読み方である。

国語を教える
ときに役立つ基礎知識
88
山田敏弘

教員免許状の
取得以降、
知識を更新して
いますか？

次の中から、正しいと思うものにチェック！

- 「ワンタン」は、外来語である
- 「木」は、2画目ははねてはいけない
- 「十本」は、「ジッポン」だけが正しい読み方である

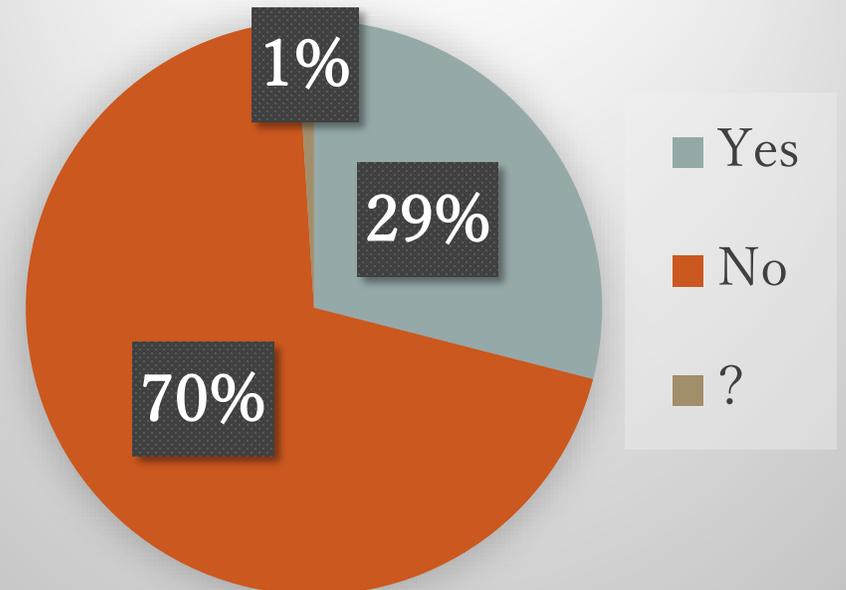
答えは、裏表紙
無断転載禁止

くろしお出版

三男の嘆き

- お父さん、「木」の2画目って、はねたら×なの？
- ネットでも同様の疑問が散見される。
「右」の「口」の部分は、「ナ」と話さなければならぬ？

現職国語教師の回答



正解は？ 根拠は？

- はねてもよい。
- 「常用漢字表」付表「字体についての解説」
- 「当用漢字表」(1946)以来、変わらない。

【本書の方針】

教師の思い違いを修正し、その根拠を示し、
また、根拠に当たる方法も示す。

第2 明朝体活字と筆写の楷(かい)書との関係について

2 筆写の楷書では、いろいろな書き方があるもの

(1) 長短に関する例

雨 — 雨 雨 戸 — 戸 戸 戸

(4) はらうか、とめるかに関する例

奥 — 奥 奥 公 — 公 公
角 — 角 角 骨 — 骨 骨

(5) はねるか、とめるかに関する例

切 — 切 切 切 改 — 改 改 改
酒 — 酒 酒 陸 — 陸 陸 陸
穴 — 穴 穴 穴

木 — 木 木 来 — 来 来

糸 — 糸 糸 牛 — 牛 牛

環 — 環 環

(6) その他

令 — 令 令 外 — 外 外 外
女 — 女 女

九私のうち

二十八

庭

けん立つてゐます。これが私のうちです。それはくしづかな所で、風の音と水の音より外には、何の音も聞えませぬ。庭さきのもみぢの木は、前の川に美しいかげをうつしてゐます。

栗

うら一めんの林は私のうちのもので、此のごろは栗の花がたくさんさいてゐます。此の間町のをばさんがいらつしやつて、こ

國五
國五

ぐ

んなしづかな所でくらししてみたい。」とおつしやいました。

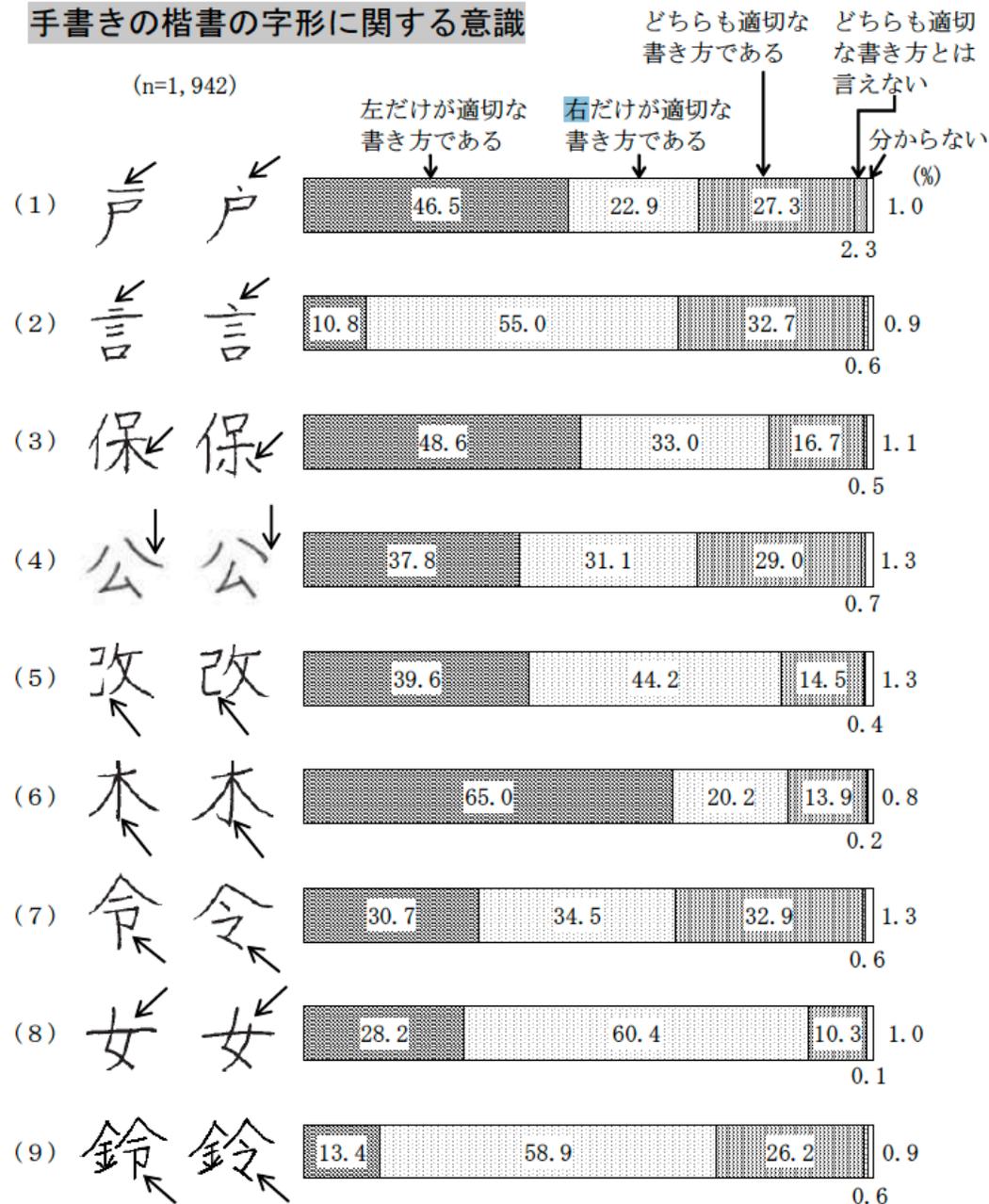
二

もえる木のめに春風吹けば、
うちのまはりのうめももさくら、
かはるぐに花さきみだれ、
人も来て見る、小鳥もうたふ。
うちの前には小川が流れ、

九私のうち

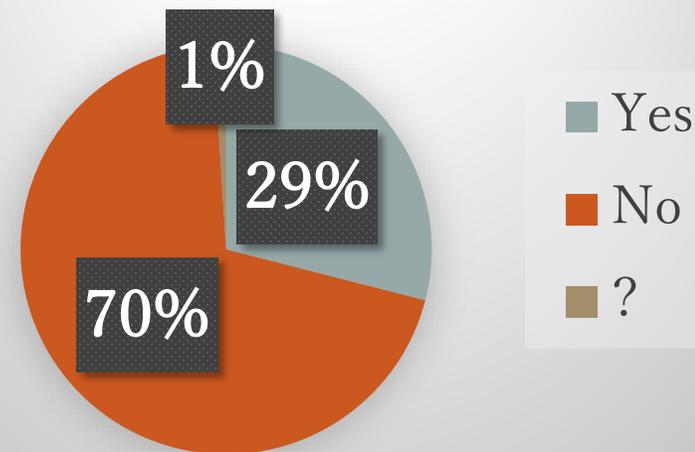
二十九

グラフ1 手書きの楷書の字形に関する意識



「国語に関する世論調査」 H27

現職国語教師の回答



カ その他, つけて書くことも, はなして書くこともあるもの

構成要素の例	左のような構成要素を持つ漢字の書き表し方の例		
𠂔	登 登	発 発	など
疒	病 病	痛 痛	など
宀	究 究	窓 窓	など
白	右 右	石 石	など

表記の「都市伝説」をもうひとつ

- 擬音語は、片仮名で書き、擬態語は、平仮名で書く。
- exciteニュース
米光一成「擬態語はひらがな、擬音語はカタカナ」教育の功罪
 1. 星が（きらきら・キラキラ）している。
 2. 犬が（わんわん・ワンワン）ほえた。
 3. うさぎが（ぴよん・ピョン）とはねた。
- 噂の真相は、ぜひ本書でお確かめください。



重要なことは、確かめること。
確かめる手段をもつこと。
確かめようとする姿勢をもつこと。

勘違いは誰にでもある

辞書の記述

学習指導要領

- 『小学校学習指導要領 解説 国語編』
第4章 指導計画の作成と内容の取扱い
2 内容の取り扱いについての配慮事項
○ 「〔知識及び技能〕に示す事項の取り扱い」

平成20年告示の学習指導要領では、第3学年及び第4学年において、「表現したり理解したりするために必要な語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること」を指導することとされていたが、今回の改訂では、6年間を通じて、児童の発達や学習の状況に応じて調べる活動を取り入れ、調べる習慣が身に付くよう、内容の取扱いとして示している。

辞書の記述は同じか

- 学校の授業では、1クラス皆、同じ辞書を使っていることが多い。
- G.リーチ(1977)の意味の区別
 1. 概念的意味：意味を構成する示差的特徴のうち必須なもの束
 2. 内包的意味：人々が共通に抱く連想的イメージ
 3. 文体的意味：話者の性・世代・職業などについて、社会の人々が一般的に抱いているイメージ
 4. 喚情的意味：話者の感情、態度について抱いているイメージ
 5. 反映的意味：同じ言語表現の別の意味から連想されるイメージ
 6. 連語的意味：他の語と結びついた時に生じる意味
 7. 主題的意味：メッセージの組み立て方によって伝達される意味

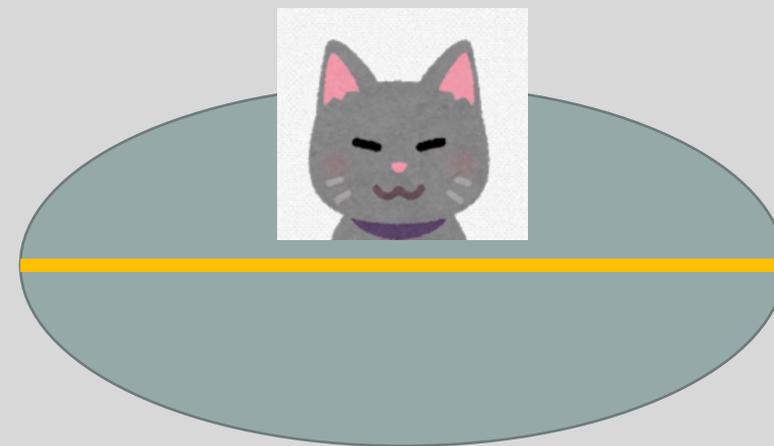
辞書の記述を比較する

- 社会の新しいできごとを早く知らせることを目的として定期的に（おもに、毎日）発行する、大判の刊行物。（『三省堂国語辞典』第七版）
- 〔新しいうわさ・ニュースの意〕社会の新しい出来事を速く（解説や批判などを加えて）報道する定期刊行物〔多くは、日刊〕（『新明解国語辞典』第七版）
- 社会の出来事の報道・批判を、すばやく伝えるための、定期刊行物。多くは日刊。（『岩波国語辞典』第八版）

発想を広げて考える

- さまざまな辞書を比べると、「意味」が相対的に捉えられる。
- 辞書は、「概念的意味」を記述するものだが、ときに主観的な「内包的意味」なども含まれている。
- ここから、自分自身で適切な「意味」を見つけることが大切。
- ちなみに、辞書の記述は「循環論」になりがち。
- F.de Saussure signifiant と signifié

イラストは「いらすとや」から



単に辞書を引かせるだけでなく…

- 国語教育では、類似する概念・対立する概念で文章を分析することが大切。
- 「語彙の貯金通帳」
 - 貯めておける
 - いつでも引き出せる
 - 目的別に整理できる



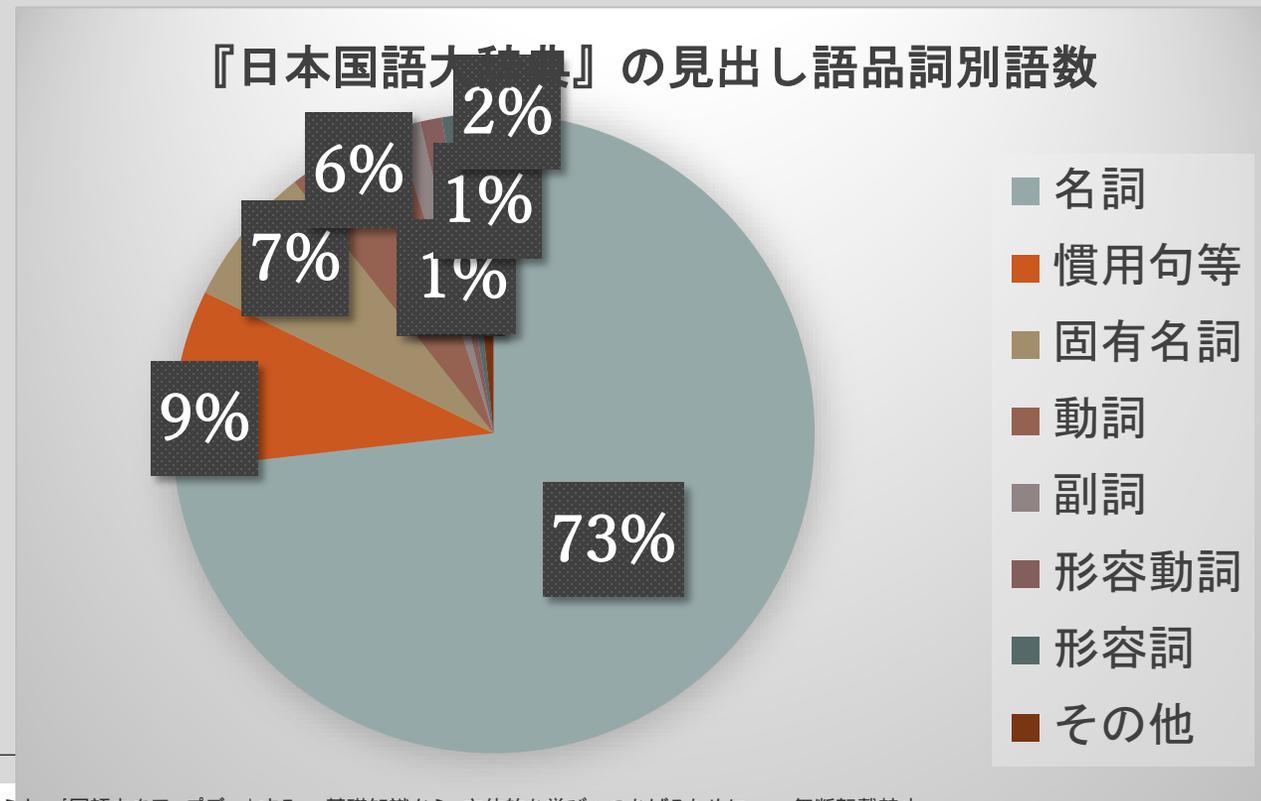
辞書は眺めているだけで
面白い

形容詞と形容動詞、多いのは？

- 宮島達夫他編(1982)『図説日本語—グラフで見ることばの姿』
『日本国語大辞典』の見出し語分析

- 形容動詞 4,760
- 形容詞 4,381 項目

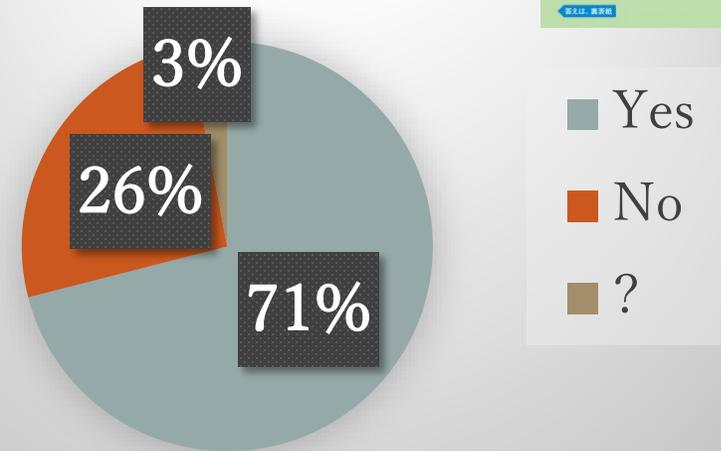
- 外来語を取り入れる
「SDGsな暮らしかた」
花王株式会社HP
「withコロナな暮らし」
Panasonicつくば



図書館にある本への中継局

- この問いが、もっとも「誤答」の多かった問い。
- これはしかたがない。
- しかし、外来語を考えるきっかけにはなる。
- 実は、『日本国語大辞典』は初版。現在は、『日本国語大辞典 第二版』が売られている。統計は見たことがない。
- 『図説日本語』は、たいへんおもしろい本。そこへの橋渡しを『国語を教えるときに役立つ基礎知識88』は担っている。

形容詞が多い？

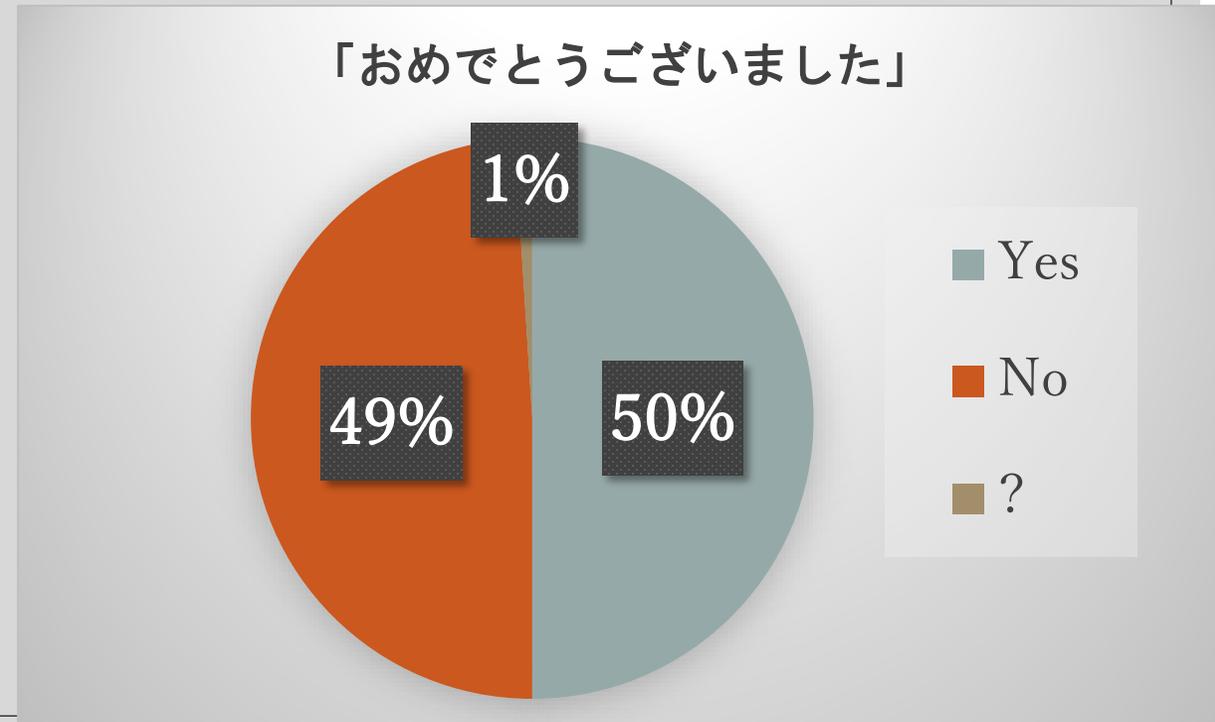


小学校で教える文法とは



「おめでとうございます」

- もっとも割れた問い。
- 「よろしかったですか」は間違った日本語という同調圧力。



中学校の教科書の記述

- | | | | |
|------|------------------|---|------------|
| ① 過去 | 現在より以前のこと。 | 例 | 昨日は寒かった。 |
| ② 完了 | 物事が終了し、動きが止まること。 | 例 | 作品が完成した。 |
| ③ 存続 | ある状態が続いていること。 | 例 | 高くそびえた山々。 |
| ④ 確認 | 思いだし、思い当たること。 | 例 | これは君のだったね。 |

たしかに、①～④のどれでもない。

出来事成立時と認識時とのずれ

1. ・バスが来た！

認識の完了・出来事未実現

・（忘れ物を取りに来て）あ、ぼくの傘、あった！

認識の完了・出来事実現（未完了）

2. ・おめでとうございます。

感情＝現在・根拠となる出来事＝完了

・ありがとうございました。

「よろしかったでしょうか」

- みなさんはどうお考えですか？
- 間違った日本語か。
- どう教えるか（対 児童生徒、対 外国人日本語学習者）
- 個人的な主張ではなく、その学習者のメリットを考える。

意識と理論のギャップ

④ 確認用法 思いだし、思い当たること。

- 例
- ・これは君のだったね。
 - ・君の家、ここにあったのか。
 - ・明日の会議、何時からでしたか？
 - ・ご注文の品は、こちらでよろしかったでしょうか。

 - ・？いらっしやいませ。何名様でしたか。



文法はおもしろくない？

- 教育学部国語教育講座学生の声
 1. 文法は好きでしたか。
 2. 文法は得意でしたか。

- 本当のおもしろさに気づいていない。

文法はおもしろい！

国語の文法は、疑問だらけ！

- 「だ」は断定の助動詞か？
「雨が降るだろう」の「だろう」は、「断定＋推量」？
「雨が降るなら、車で行こう」の「なら」は、断定の仮定？
- 「家から学校まで歩く」の「から」は格助詞。では、「まで」は？
- 「は」も「が」も主語か？
- 「雨が降ったために」の「ために」の品詞は？
- 「雨が降ったようだ」の「ようだ」は助動詞。では「雨が降ったはずだ」は？

形式主義・語源主義から機能主義へ

- 国語の文法の存在意義は古典文法への橋渡し。
- 現代を生きるために役立つものであろうか？
- 日本語教育では、機能（function）が重要。
 - 「だろう」は全体で推量（推量とは何？）
 - 「ために」は接続表現、「はずだ」は判断のモダリティ表現
- もちろん、「ための」や「はずの」と言える名詞的な特徴もある。
- しかし、今必要なのは、使えるようになるための文法形式学習。
- それを教室の子どもたち、社会の日本語話者全員が共有できればよい。



教科書の例から

1. 文法の新しい知見を活かす

意外と知られていない「のだ」

さまざまな研究成果

- ① 換言 (光村小6 大牟田稔著「平和のとりにてを築く」より)
原爆ドームは、原子爆弾が人間や都市にどんな惨害をもたらすかを私たちに無言で告げている。(中略) 世界の人々に警告する記念碑なのだである。

- ② 説明
あなたは、学生ですか？ 学生なんですか？
こう見えても、学生です。 学生なんです。

教科書例：説明文

- 光村図書小学校 3 年生国語教材「すがたをかえる大豆」（国分牧衛）
「…大豆がそれほど食べられていることは、以外と知られていません。大豆は、いろいろな食品にすがたをかえていることが多いので気づかれないのです。」
- まとめとして段落末の文で用いられることが多い。
- ということは、そのまとめの文をたどればあらすじが理解できる。
- 「ぼくは漁師になる。おとうといっしょに海に出るんだ。」（立松和平「海の命」より）

2. 文法と語彙から見抜く国語教材の構造

語彙力とは何か。

- 語彙の意味に関する知識
- 思考力の基礎としての活用
 - (1) 階層性
 - (2) 対義語
- この語彙力と文法力を組み合わせる

教科書例：

- 。「すがたをかえる大豆」（国分牧衛）

「大豆をその形のままいったり、にたりして、やわらかく、おいしくするくふうです。」

「大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出して、ちがう食品にするくふうもあります。」

「目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふうもあります。」

3. 未来志向の学校文法の提唱

単なる「日本語学」の応用を超えて、考えるための文法を構築する

- 宮沢賢治「やまなし」
「～てくる」「～ていく」「～ている」
- 工藤直子「くじらぐも」
主語の交代とヴォイス（能動・受動）
- アーノルド・ローベル 三木卓訳 「お手紙」
「た」の連続のタクシス

これらは、すべて、日本語学知識の応用

教科書例：「やまなし」 宮沢賢治

1. ニひきのかにの子供らが、青白い水の底で話していました。
2. 上の方や横の方は、青く黒く鋼のように見えます。そのなめらかな天井を、つぶつぶ暗いあわが流れていきます。つぶつぶあわが流れていきます。かにの子供らも、ぽつぽつぽつと、続けて五、六つぶあわをはきました。それは、ゆれながら水銀のように光って、ななめ上の方へ上がっていきました。
3. 魚がまたつうともどって、下の方へ行きました。[会話] にわかにはぱっと明るくなり、日光の黄金は、夢のように水の中に降ってきました。波から来る光のあみが、底の白い岩の上で、美しくゆらゆらのびたり縮んだりしました。あわや小さなごみからは、まっすぐなかげの棒が、ななめに水の中に並んで立ちました。魚が、今度はそこらじゅうの黄金の光をまるっきりくちやくちやにして、おまけに自分は鉄色に変に底光りして、また上の方へ上りました。

接近	非接近・非乖離	乖離
<p>⑮[お魚]もどってきました。</p> <p>⑯[お魚]やって来ました。</p> <p>⑰[鉄砲玉のようなもの]飛びこんで きました。</p> <p>⑲[お父さんのかに]出てきました。</p> <p>㉑[花びら]すべってきました。</p>	<p>⑭[弟のかに]たずねました。</p> <p>⑱[魚のかげ]すべりました。</p> <p>⑲[兄さんのかに]見ました。</p> <p>㉒[魚]上の方に上がった(ようでした)</p> <p>㉓[光のあみ]ゆれ、[あわ]流れました。</p> <p>㉔[かに]居すくまってしまいました。</p> <p>㉕[弟のかに]言いました。</p> <p>㉖[光のあみ]のびたり縮んだり、[花びら] すべりました。</p>	<p>★</p>

考えるための文法とは



1. Society 5.0の社会像・求められる人材像、学びの在り方

(Society 5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会の議論を踏まえて)

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2018/11/19/1411060_02_1.pdf

Society 5.0の社会像

A I 技術の発達 ⇒ 定型的業務や数値的に表現可能な業務は、A I 技術により代替が可能に
⇒ 産業の変化、働き方の変化

日本の課題

A I に関する研究開発に人材が不足、少子高齢化、
つながりの希薄化、自然体験の機会の減少

人間の強み

現実世界を理解し意味づけできる感性、倫理観、
板挟みや想定外と向き合い調整する力、責任をもって遂行する力

Society 5.0における学びの在り方、求められる人材像

A I 等の先端技術が教育にもたらすもの ⇒ **学びの在り方の変革**へ

- (例) ・スタディ・ログ等の把握・分析による学習計画や学習コンテンツの提示
・スタディ・ログ蓄積によって精度を高めた学習支援 (学習状況に応じたコンテンツ提供、学習環境マッチング等)

学校が変わる。学びが変わる。 ⇒ Society 5.0における学校 (「学び」の時代) へ

- ・一斉一律授業の学校 → 読解力など基盤的な学力を確実に習得させつつ、個人の進度や能力、関心に応じた学びの場へ
- ・同一学年集団の学習 → 同一学年に加え、学習到達度や学習課題等に応じた異年齢・異学年集団での協働学習の拡大
- ・学校の教室での学習 → 大学、研究機関、企業、NPO、教育文化スポーツ施設等も活用した多様な学習プログラム

共通して求められる力 : 文章や情報を正確に読み解き対話する力
科学的に思考・吟味し活用する力
価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探求力

新たな社会を牽引する人材 : 技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材
技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材
様々な分野においてA I やデータの力を最大限活用し展開できる人材 等

2. Society 5.0に向けて取り組むべき政策の方向性

(新たな時代を豊かに生きる力の育成に関する省内タスクフォースにおける議論の整理)

<求められる人材像、
学びの在り方>

学びの在り方の
変革

共通して求め
られる力の育
成

新たな社会を
牽引する人材
の育成

<現状・課題等>

【すべての学びの段階】

- 基盤的な学力を確実に定着させながら、他者と協働しつつ自ら考え抜く自立した学びが不十分。

【小・中学校】

- OECD/PISAでも高い到達水準。
- 他方で、家庭環境、情報環境の変化のなかで、文章や情報の意味を理解し思考する読解力に課題との指摘。
- 貧困の連鎖を断ち切り、すべての子供達にSociety5.0時代に求められる基礎的な力を確実に習得させる必要。

【高等学校】

- 普通科7割(80万人)・専門学科等3割(30万人)。
- 普通科は文系7割(50万人)といった実態があり、多くの生徒は第2学年以降、文系・理系に分かれ、特定の教科については十分に学習しない傾向。
※例えば普通科全体のうち「物理」履修者は2割(14万人)
- 学年にとらわれない多様な学び(高等教育機関や産業界等との連携)の可能性。

【高等学校卒業から社会人】

- 四年制大学は、人・社系5割(30万人)、理工系2割(12万人)、保健系1割、教育・芸術系等2割。
※諸外国は、理工系にドイツ約4割、フィンランド・韓国等約3割
- 教育におけるSTEAMやデザイン思考の必要性。
※STEAM=Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics

<取り組むべき政策の方向性>

I 「公正に個別最適化された学び」を実現する多様な学習の機会と場の提供

II 基礎的読解力、数学的思考力などの基盤的な学力や情報活用能力をすべての児童生徒が習得

III 文理分断からの脱却

そこかしこに転がる「考える種」

知識だけの国語教育は、もういらない。

- 「をにがとよりでからのへや」（鬼が戸より出、空の部屋）

...

国語の教材を、文法を用いて[基礎的読解力・数学的思考力]の育成に役立てる。

- 宮沢賢治著「やまなし」 空間の伸縮と心の緊張・緩和

- 中川李枝子著「くじらぐも」 主語の交替と、「くじらぐも」の呼応

文法をつまらないもの（知識だけで終わるもの）にしないこと。

この講座の目的と今後の方向性

- 国語教育で必要とされる知識をアップデートする。
 - 今回紹介した書籍は、基礎、応用、発展で有効である。
 - 教員免許状更新講習の廃止の諮問 今後の答申次第だが…
 - 自主的な学びのサポートが必要 学ぶ教員と学ばない教員の差の拡大
- 国語教育の表記、語彙、文法、方言などに関する知識を、日本に住む外国人に対する日本語教育にも使えるようなものに近づけていく。
 - 教員だけでなく、コミュニティでのサポート
 - 日本語教師はコーディネーターの役割へと移行することも視野に入れる。
- 日本に住むすべての子どもたちにとって、よりHAPPYなことばの教育を目指す。
 - クラスメートが互いに教え合えるような国語教育への移行